

平成 26 年度 第 4 回宮崎支部評議会の概要報告

開催日時	平成 26 年 12 月 3 日(水) 10:00～12:00
開催場所	宮崎支部会議室
出席者	大迫評議員、塩月評議員、高橋議長、秩父評議員、中下評議員、長鶴評議員、野崎副議長、福島評議員(五十音順)
議題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 26 年度上半期事業結果報告について (2) 全国大会(11/18)の報告について (3) 地方自治体との協定締結について (4) データヘルス計画について (5) 平成 27 年度特別計上経費(案)について (6) 運営委員会(第 59、60 回)の報告について
議事概要 (主な意見等)	<p>(1) 平成 26 年度上半期事業結果報告について</p> <p>■資料に沿って事務局より説明。</p> <p>■主な意見や質問など</p> <p>(学識経験者) レセプトグループの事業実施結果の中に、返納金の金額が上がっていますが、これは請求して収納した金額ですか。それとも未納金額は別にあるのでしょうか。</p> <p>(事務局) 資料の金額は債権として調定した金額です。実際は、100%回収できていない状況ありますが、最終的に回収できない場合に法的措置を取ることになります。現年度の債権回収率は、8 割弱が回収されている状況です。年度を越えてしまうと、過年度の取扱いになるので回収率が低くなっています。発生した初年度の対応が非常に大事になってきますので、去年から今年にかけて法的措置を進めているところであり、協会けんぽとしては、過年度分を含めて、全体で 6 割ぐらい回収しています。残りの 4 割の部分は以前からの分もありますが、償却しているのも含めて相当あります。</p> <p>(学識経験者) 回収できない分の償却はどういう場合にするのですか。</p> <p>(事務局) 民法の規定で返納金は、時効が 10 年になっておりますので、10 年間は毎年度、督促文書、電話及び訪問を繰り返し行いますが、基本的に回収できないのは自己破産、死亡時の相続放棄等の特殊な例について時効消滅をさせています。</p> <p>(学識経験者) 未回収分は、資産として残るのでしょうか。</p> <p>(事務局) 基本的には残ります。回収率が 100%に限りなく近付きますがどうしても回収できない状況にあります。</p>

(事業主代表)費用の削減で努力をされていますが、具体的に宮崎支部の費用の削減目標の数値を教えてくださいということと、仕事量に対して現在の職員数で足りているかを、計り知れないかもしれませんが教えてください。

(事務局)経費削減については、相当厳しく、電気代は、節減対策で冬は19℃、夏は28℃と温度管理まで徹底しています。事務経費も相当絞っています。不動産を持っていないので、全国健康保険協会都道府県支部の建物は全部賃借です。経費を節減してその中でやっております。

(学識経験者)企画総務グループのジェネリック医薬品使用促進の部分で、全国の中でも宮崎支部は11位と非常に優秀だと思いました。ジェネリックを促進する上でポイントとなるのが、一般の人は、なかなかジェネリック医薬品があるかわからないので、処方せんを持っていった時に薬剤師からジェネリックがあるという促進の声かけがあれば、それが一番大きく促進するのではないかとこのふうについていつも思っていますが、薬剤師との協力体制について教えてください。

(事務局)薬局につきましては個々には難しい部分がありますので、薬剤師会を通じてポスターの掲示等のお願いをしています。加入者本人がジェネリック医薬品を使用する環境が整うのが一番ですが、医療機関では難しいと思いますので、希望カード・シールをお配りしまして、医療機関と患者様の直接的な手助けをしています。先般も薬剤師会にお伺いして、軽減額通知を出した後の結果を報告しました。協力体制ということではありませんが、加入者の薬代の負担軽減が図られたということと、プラス医療機関制度の限りある財源を有効にということをご理解いただくということをお願いをしています。

(被保険者代表)ジェネリックの使用頻度が高まっているのは、協会けんぽがレセプトを点検しながら加入者一人一人に、ジェネリックを使用すればこれだけ自己負担が軽減されるという軽減額通知を出して発信しています。宮崎支部での平成24年度の年間削減効果額は約5,000万円、平成25年度は約9,000万円で、これは支部職員の対応が功をそうしているのではないかと考えています。また、宮崎支部の目標数値で、数量ベース38.5%と記載がありますが、ジェネリックの計算方法が変わったことを何かで見ることがあります。この割合は、旧基準の数値ですか。

(事務局)はい。旧基準です。以前はすべて医薬品対しての基準でしたが、将来的に国はジェネリックがある医薬品を対象としている新基準で60%を目指す方針を示しています。

(被保険者代表)現場サイドの意見からすると、ジェネリックの使用促進に関しては、各先生方の意向、それから受診者の認識、先発と後発の違いとか、いろんな不安とかが錯誤しまして、なかなか浸透していません。病院自体の医薬品の仕入れが減っていますし、そういうところで、調剤薬局との兼ね合いもあります。さらに販売会社の絡みもありまして、中々2割3割のラインが非常に難しい段階であると私の立場では考えています。ただ、将来的な医療費の削減であれば、ジェネリック医薬品の使用促進は必要ではないかと思えます。それに付随しまして、健診では、特定健診を含めて、生活習慣病健診は全体的に各病院

での受診率が伸びてきています。これが伸びたことによって、医師の仕事量がかなり増えています。医師等の休日取得の問題や外来の受診者の待ち時間の問題と絡んで、現場としては苦慮している部分もあります。

(2) 全国大会(11/18)の報告について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

・特になし。

(3) 地方自治体との協定締結について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

(事業主代表) 地方自治体との協定締結は全国的な流れなのでしょうか。

(事務局) 全国的です。今までの医療の計画は県が作成していますが、協会けんぽのデータが入っていません。そこで行政と連携しながら、今までの国保だけのデータだけではなく、協会けんぽの現役世代のデータを含めて、県全体で医療費適正化を考えていこうと、市及び県との連携協定締結を進めています。将来は協会けんぽとしての医療計画に対する意見を言うていくことを考えていますので、その足がかりになると考えております。

(学識経験者) 協定締結は、今後すべての市町村とすることを考えているのでしょうか。

(事務局) 県ともお話をしていますが、県は宮崎市、延岡市、都城市の3市を押さえてからの締結を、と言われていています。現在、都城市にお願いをしています。3市と協定を締結すれば全体の約7割近くのデータが入るので、県が動いてくれれば、他の市町村にも影響が出てくると思います。

(4) データヘルス計画について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

(事業主代表) これだけの膨大な、しかも大事な事業をどういふ関連の方々を巻き込んで実施するのでしょうか。それとも宮崎支部のスタッフだけでこれだけの事業をやるのでしょうか。

(事務局) 基本的には、協会けんぽの事業はいろんな方々のご協力をいただかないと自分達だけではできません。事業主の方及び事業所の方ともいろんな提携をしていかないとイケません。データについては、現在分析等を看護大学の先生方と打ち合わせをしており、今後は協定を締結し連携をしていく予定です。保健師は市町村にもたくさんいらっしゃいますので一緒に研修を実施することを考えています。また、県が推奨している1130運動を一緒に推進していますし、事業所側で運動をしていただく運動推進事業所も募集しています。その他にも、健診結果に基づき保健師が保健指導を実施しておりま

す。しかし、問題は本人ですので、ご本人が血圧を下げようとか、気持ちや行動をどうやったら変えられるかの講演を開いたり、宮崎県の社会保険委員会と協力をしながら、様々な事業のお知らせをしたり、協会けんぽのホームページ上やメールマガジン等でさらなる広報の拡大に取り組んでいきたいと考えています。

(学識経験者) 血圧を下げるのは看護の方でも狙いとしていくところでもあります。それぞれが持っている力を上手く活用しないとできないことだと思います。ただ、活用できれば協会けんぽがコーディネートをする形で連携を作って、システム化をすることにより上手く機能していくと思います。看護大学ではコーディネートをする余力がありませんが、保健指導に関してのスペシャリストとしての力は十分蓄えています。大学は、住民の健康のための力を蓄えていますし、どこかと手をつなげばスムーズに行くと思いますので、上手く活用して欲しいと思います。看護大学では、先程の教員以外に国立保健科学学院の方から分析のスペシャリストが来ていますので、十分活用すると上手く機能するのではないかと思います。

(事業主代表) 宮崎県民の血圧が高い主な原因はあるのでしょうか。

(事務局) 宮崎県民は、食事の味付けや焼酎を飲む等の食生活が原因の一つだと考えられます。

(学識経験者) 私は、東京から看護大に就職で故郷宮崎に帰ってきましたが、宮崎県の味付けは濃いと思います。刺身にも醤油をたっぷり付けますし、煮付の味付けも濃いと思います。宮崎県の高血圧のデータをみて納得しました。宮崎県民は濃い味付けを好むので、血圧が高いのではないかと思います。

(5) 平成 27 年度特別計上経費(案)について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

・特になし

(6) 運営委員会(第 59、60 回)の報告について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

・特になし

特記事項

・傍聴なし

・次回の評議会は日程調整を行い開催する予定。